

第2回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会に10大学47人

「第2回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」が3～5日、東京食肉市場で開催された。食肉業界の将来を担う人材育成を目的に現役学生が牛肉・豚肉格付けの精度を競うもので、昨年が続いての開催となった。主催は全日本大学対抗ミートジャッジング競技会（日本ICMJ）実行委員会。参加した47人の学生はセミナーや交流会、格付に関する講義・実習をこなし、最終日の競技会に臨んだ。表彰式では船本富弘審査委員長（社）日本食肉格付協会専務理事）が審査講評を述べ、結果発表に。黒毛和牛、交雑牛、豚の3部門それぞれ上位3人の表彰の後、総合部門では帯広畜産大学の加藤啓介くんが1位に輝いた。表彰者には日本食肉格付協会の金井俊男会長から賞状・記念品が手渡された。豪州の肉牛生産者を代表してストックヤード社のロッキー・ハート代表が学生たちの健闘を称え祝辞を贈った。入賞者は次のとおり。総合部門1位Ⅱ加藤啓介・帯広畜産大学、2位Ⅱ石川悠未・宮崎大学、3位Ⅱ清水俊策・神戸大学、4位Ⅱ鈴木喬之・麻布大学、5位Ⅱ常盤将広・同、黒毛和牛部門1位Ⅱ高山世絵梨・日本大学、2位Ⅱ杉崎朋美・日本獣医生命科学大学、3位Ⅱ佐藤未来・筑波大学、交雑牛部門1位Ⅱ常盤将広、2位Ⅱ清水俊策、3位Ⅱ青木瑞代・筑波大学、豚部門1位Ⅱ加藤啓介、2位Ⅱ鈴木喬之、3位Ⅱ紫芝涼真・帯広畜産大学、大学対抗部門1位Ⅱ北海道大学、2位Ⅱ帯広畜産大学、3位Ⅱ麻布大学、特別賞Ⅱ日本獣医生命科学大学。